

機械器具 30 結紮器及び縫合器
一般医療機器 持針器 12726010

Medspace 持針器

【禁忌・禁止】

- ・本製品は使用目的以外に使用しないこと。[誤った使用方法は本品の破損を招く恐れがあるため。]
- ・本製品を曲げる・切削する・打刻する等の二次的加工(改造)は絶対に行わないこと。[故障・破損の原因となるため。]

【形状、構造及び原理等】

〈形状〉（代表例）



クライルウッド、メイヨーヘガール、マチュー

〈原理〉

ハンドル部を閉じることで把持部が閉じ、縫合針を把持する。

〈原材料〉

ステンレス鋼

【使用目的又は効果】

ハンドルをもつ手術器具をいう。遠位端から転心までの刃の先端は様々な形状になっており、縫合時に縫合針を把持するように設計されている。

【使用方法等】

ハンドルを親指と人差し指等を用いて握ると把持面は閉じ、縫合針を把持できます。握る力を緩めればバネの反発によって開きます。先端把持部(ジョー)にて、使用する持針器に適合する針をご使用してください。ラチェットのある持針器をご使用の場合には、ラチェットが適度な力でスムーズに開閉できることを確認してから使用してください。操作時に万が一、ラチェットが開放されず先端ジョーが開かない時は、ハンドルを握り、ラチェット的一方を少し押しラチェットをはずしてください。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 手術器械は、それぞれ特定の用途に適したデザインと機能をもって製造されています。必ず使用目的に合った器械を使用してください。用途に合わない不適切な使用は、目的を達しないばかりか、器械の機能低下や破損を招く恐れがあります。
2. 電気メスを用いた接触凝固は、術者が感電、火傷をする危険性があり、また、器具の表面を損傷する恐れがあるので、併用しないでください。
3. 本品は未滅菌品です。使用に際しては必ず各医療機関にて確認された方法により洗浄・滅菌を行ってください。
例: 高圧蒸気滅菌（温度:134℃、時間:5分）
4. 本品をクロイツフェルト・ヤコブ病患者又は、その疑いのある患者の手術に使用した場合は、クロイツフェルト・ヤコブ病に関する最新の行政通知及び、「クロイツフェルト・ヤコブ病感染予防ガイドライン」で推奨されている洗浄・滅菌方法にて処理してください。

不具合・有害事象

本製品は金属であるため、度重なる使用による金属疲労により破損する事があります。

その他の注意

1. 洗浄剤は必ず医療用洗浄剤を使用してください。洗浄剤には pH の高いもの低いもの各々に利点がありますので、洗浄方法や目的にあわせて使い分けをしてください。
2. 手術器械用潤滑剤は、洗浄後は毎回使用してください。潤滑剤は手術器械の作動を滑らかにし滅菌および保管の際、器械の保護にも有益ですが、洗浄により除去されますので、こまめに使用してください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。
2. 湿気や熱に直にさらされない場所に保管してください。
〈セット組手術器械の保管方法〉
手術器械は滅菌トレーやコンテナに適切に注意深く入れてください。不適切な扱いは器械の破損や傷の原因となり、また滅菌の際に問題が生じる恐れもありますので、次の点に注意してください。
1. セット内容に適したサイズのトレーを選択してください。
2. 重い器械から先にトレーの下部に置き、軽いものが下にくることの無いよう上部に置いてください。
3. 器械を置く位置が決まっている収納コンテナの場合は、器械を指定の位置

に置くようにしてください。

4. ラチェットのある器械はラチェットをかけずに開いた状態にしてください。保管時にラチェットを深くかければかけるほど器械にかかる負荷も増し、ラチェット部の寿命を早め破損等の原因になります。
5. ステンレススチールとアルミニウムのように異種金属の手術器械は、原則として別にセットしてください。これは保管・滅菌・洗浄の際に異種金属同士の電解沈着を防止するためです。

【保守・点検に係る事項】

保守について

〈新品の手術器械を使用する前〉

1. 防錆油の洗浄除去
新品の手術器械には防錆油が塗布されています。新品のステンレス製品は、防食効果の元となる不動態皮膜の形成が不十分なために、器械表面を保護する必要があるためです。
ご使用に際し、適切な方法で防錆油を洗浄除去してから滅菌処理をしてください。防錆油が付着した状態でオートクレーブ滅菌処理を行うと、器械表面の変色や斑模様が付着の原因となり、また完全な滅菌効果を妨げる恐れがあります。
2. 新品器械の処理方法
通常の超音波洗浄やウォッシャー・ディスインフェクターによる洗浄の前に、必ず防錆油除去のための浸漬洗浄をしてください。以下に推奨方法を記載します。
①アルカリ性洗浄剤を60～80℃のお湯で10倍程度に希釈した洗浄液に30分～1時間浸漬洗浄した後、②通常の本洗浄・すすぎを経て、③速やかに水切りの前処理を行い、④乾燥器にて20～30分乾燥させます。

〈手術器械使用時〉

1. 購入時には、消毒液・洗浄液に使用される化学薬品が本製品に対して影響（錆等）を及ぼさない事を確認の上使用してください。
2. 手術中は汚れや血液等を柔らかい布やセーム皮等で拭き取りながら使用してください。その際、固い繊維製のスポンジは器具の繊細な先端部を傷つける恐れがありますので使用しないでください。
3. 化学薬品との接触を避けてください。接触させることが必要となった場合には、できるだけ早く洗浄してください。孔食・腐食の原因となります。
以下の物質と接触しないように注意し、接触した場合にはできるだけ早急に洗浄してください。
塩化アルミニウム、塩化バリウム、塩化カルシウム、リゾール、塩化第二水銀、水銀塩、過マンガン酸カリウム、生理食塩水、チオシアン酸カリウム、次亜塩素酸ナトリウム、塩化第一錫、酒石酸、血液、フェノール、塩化第一鉄、グルタルアルデヒド、クレゾール石鹼液
以下に挙げる溶液には特に注意が必要です。
王水、塩化第二鉄、希硫酸、塩酸、ヨウ素
4. 本製品を絶対に生理食塩水に浸さないでください。長時間、生理食塩水にさらすと腐食が生じ、孔食や摩耗の原因となります。
また術中に付着した血液・体液は、凝固したり乾燥したりする前に拭き取ってください。

〈手術器械の使用後〉

1. 手術器械は、血液や汚れが乾いて器械の表面にこびりつかないように、使用後

は直ちに予備洗浄をしてください。術中に使用しなかった器械も必ず洗浄してください。

2. 血液や汚れが乾いて器械の表面にこびりついてしまった手術器械は、酵素系洗浄剤などを希釈した洗浄液に浸漬し細部に付着した汚れを除去してから、一般の器械洗浄をしてください。洗浄は一本一本手で行い、浸漬洗浄してください。
3. 手術後は直ちにボックスロックやネジ止めの器械は開き、分解できるものは分解して洗浄してください。閉じたままの洗浄は、汚れがボックスロックや溝に付着したままとなるばかりでなく、器械の錆や腐食の原因になります。
4. なるべく柔らかいブラシで洗浄してください。
金属ブラシ、金属ワール、目の粗い研磨剤等で器具の表面を磨くことはやめてください。器具表面に擦過傷を生じ、錆や腐食の原因となります。
5. 材質の異なる異種金属の器械同士は電解沈着を防止するために別々に洗浄してください。
6. 洗浄後は直ちに乾燥させてください。
湿った状態での長時間の放置は器械表面のしみの沈着、錆、腐食の発生の原因となります。
7. 洗浄および滅菌に使用する水は蒸留水・脱イオン水を使用してください。市水（一般に水道水）に含まれる残留塩素や有機物質が器械表面のしみや錆の原因となります。

点検について

1. 購入時及び使用後点検及び日常点検では、器具が正常に機能することを確認してください。拡大鏡等を使用し、器具の付着物、些細な傷・割れの有無、ラチェットのかみ合わせ、摩耗、可動部の動き等をチェックしてください。
2. 使用を重ねることにより受ける、反復的な応力により金属疲労に曝されるため、明らかな疲労が見られる場合は、その器具は破棄し新しい物と取り替える必要があります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及び製造業者
株式会社メディソレーユ
連絡先 TEL : 03-5842-5081